

登別市行財政改革実施計画  
(進捗状況)

# 目次

## 1 協働によるまちづくりの推進

### (1) 市民サービスの向上

- ① 地域の見守り体制の強化 …… 1
- ② 地域子育て支援拠点事業の推進 …… 2
- ③ 新しい除雪体制構築に係る担い手支援策の確立 …… 3
- ④ 放課後児童クラブの充実 …… 4

### (2) 民間活力の導入

- ① 鉄南ふれあいセンターの管理運営方法の見直し …… 5
- ② のぞみ園運営の業務委託 …… 6
- ③ 公立保育所の民営化 …… 7
- ④ 除雪パトロールと除雪業務の一括委託 …… 8
- ⑤ キウシト湿原管理運営の民間委託 …… 9
- ⑥ 市営住宅管理の見直し …… 10

## 2 堅実な行政運営の推進

### (1) 効率的な組織・機構の構築

- ① 組織機構の見直し …… 11
- ② 定員管理の適正化 …… 12
- ③ 徴収部門の一元化 …… 13

### (2) 人材の確保と育成

- ① 職員採用試験の見直し …… 14
- ② 時代に即した職員研修の実施 …… 15
- ③ 若手職員と幹部職員の意見交換会の導入 …… 16
- ④ 再任用職員を活用した人材育成 …… 17
- ⑤ チューター制度の確立 …… 18
- ⑥ メンタルヘルス対策の推進 …… 19

### (3) 職員の意識改革

- ① 人事評価制度の確立 …… 20
- ② 公益通報制度の構築 …… 21

## 3 健全な財政基盤の確立

### (1) 公共施設の有効活用

- ① 公共施設整備方針の見直し …… 22
- ② 各支所及び分室の適正配置 …… 23
- ③ 消防体制の見直し …… 24
- ④ 市営住宅管理戸数の削減 …… 25
- ⑤ 地域情報センターの見直し(図書館分館の設置) …… 26
- ⑥ 未(低)利用財産の適正管理 …… 27
- ⑦ 学校開放事業の自主管理 …… 28
- ⑧ 小中学校の適正配置 …… 29
- ⑨ 公共施設等総合管理計画の策定 …… 30
- ⑩ 再生可能エネルギーの導入 …… 31

### (2) 財源の確保

- ① 公共施設使用料及び減免制度の見直し …… 32
- ② 手数料の見直し …… 33
- ③ 青少年会館の有料化 …… 34
- ④ 市税等収納率の向上 …… 35
- ⑤ ふるさとまちづくり応援寄附金の見直し …… 36

### (3) 効率的な財政運営

- ① 計画的な財政運営 …… 37
- ② 統一的な基準による公会計制度の本格導入 …… 38
- ③ 経常経費等の削減 …… 39
- ④ 選挙における投票所の適正配置 …… 40
- ⑤ 選挙におけるポスター掲示場の適正配置 …… 41
- ⑥ 公共施設における特定規模電気事業者(PPS)からの電力購入 …… 42
- ⑦ 札内地区スクールバスのタクシー化 …… 43
- ⑧ 市バスの独自運行 …… 44

### (4) 既存事業の見直し

- ① ごみステーションネット化推進事業補助金の廃止 …… 45
- ② 蜂及び蜂の巣駆除業務の見直し …… 46
- ③ 災害遺児手当の廃止 …… 47

## ■ 財政効果額一覧


…… 48

実施時期欄に記載している用語の説明

<p>Plan 計画</p>	<p>検討 策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>… 実施内容について、色々な面からよく調べ考えること。</li> <li>… 実施内容について、計画を立てること。</li> </ul>
<p>Do 実行</p>	<p>実施 一部実施 適宜実施 試行 設置 運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>… 実施内容について、施行すること。</li> <li>… 実施内容について、一部を施行すること。</li> <li>… 実施内容について、環境が整い次第、各施設毎に実施すること。</li> <li>… 実施内容について、実施前に試すこと。</li> <li>… 実施内容に係る建物や設備、場所を作り上げること。</li> <li>… 実施内容に係る施設・組織を動かすこと。</li> </ul>
<p>Check 評価</p>	<p>検証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>… 実施内容を実施した後、施行した内容について調べて確認すること。</li> </ul>
<p>Action 改善</p>	<p>実施 見直し 適宜見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>… 実施内容について、施行すること。(検証後を含む)</li> <li>… 実施内容(計画を含む)について、検証し改善すること。</li> <li>… 実施内容(計画を含む)について、環境が整い次第、見直すこと。</li> </ul>


1 協働によるまちづくりの推進

(1) 市民サービスの向上


整理番号	①	主管グループ	社会福祉グループ					
		関係グループ	総務グループ、障がい福祉グループ、高齢・介護グループ、市民協働グループ外					
実施項目	地域の見守り体制の強化							
改革内容	登別市社会福祉協議会が実施する「小地域ネットワーク活動事業」の全市的な展開を支援し、制度の普及を図ることにより、平時はもとより災害時の地域の見守り体制を確立し、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進する。							
進捗状況	市と社会福祉協議会の協議により、小地域ネットワーク活動における平時の見守り台帳と災害時における要支援者台帳を統一したきずなづくり台帳を作成するとともに、災害時等に備え、平時から支援関係者が台帳を共有するなど、制度を見直した。 また、見守りが必要な方の把握や支援活動、緊急時の備えとして、平成27年度よりきずな安心キットを配付するとともに、きずな安心キット内に保管するきずなづくり台帳を複写式にすることで、作成者の負担軽減を図った。今後における小地域ネットワーク活動の全市展開ときずな安心キット配付の取り組みを推進する。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
地域の見守り体制の強化								
	検討	実施	実施	実施・検証	実施	実施	実施・検証	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	95町内会	95町内会	95町内会	95町内会	95町内会	95町内会	95町内会
	実績・見込	40町内会	65町内会	67町内会	70町内会	95町内会	95町内会	95町内会

1 協働によるまちづくりの推進

(1) 市民サービスの向上

整理番号	②	主管グループ	子育てグループ					
		関係グループ						
実施項目	地域子育て支援拠点事業の推進							
改革内容	地域子育て支援拠点事業として、子育て支援拠点が未設置である美園・鷺別地区に設置を進めるとともに、その運営にあたっては、利用者のニーズなどを踏まえた中で、民間等の活用など実施形態を柔軟に選択し、効果的な子育て支援を推進する。							
進捗状況	未設置となっている美園・鷺別地区の子育て支援拠点を鷺別児童館内に平成30年度開設した。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
美園・鷺別への子育て支援拠点設置								
	検討	検討	検討	設置	運営	運営	運営・検証	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	3箇所	3箇所	3箇所	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所
	実績・見込	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所	4箇所	4箇所	4箇所

1 協働によるまちづくりの推進  
 (1) 市民サービスの向上


整理番号	③	主管グループ	土木・公園グループ					
		関係グループ	市民協働グループ、社会福祉グループ					
実施項目	新しい除雪体制構築に係る担い手支援策の確立							
改革内容	市民協働のまちづくりを推進するため、除雪ボランティアの主な担い手となる町内会等に必要な除雪器材を貸与するなど、新しい除雪体制構築に係る担い手支援策を確立する。							
進捗状況	<p>町内会の協力を得て実施している「凍結防止剤等散布ボランティア支援事業」については、実施している町内会からの評判もよく、継続の意向が強いことから、今後も問題点があれば修正しながら事業実施する。</p> <p>平成27年度から、滑り止め対策の試行として市が選定した横断歩道のある交差点に取外しが可能な砂箱を配置しており、今後の配置箇所の拡大について、検証を行う。</p> <p>また、高齢者や障害者世帯の間口除雪の新たな支援策について、社会福祉グループや関係団体と協議しながら引き続き検討を進めると共に、私道の除雪対応や地域の雪出し防止について「冬道対策検討委員会」などで意見交換を進め、試行事業の検討を行いたい。</p>							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
除雪の担い手支援								
	試行	試行	実施	実施	実施・検証	実施	実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	-	-	-	-	-
	実績・見込	-	-	-	-	-	-	-

1 協働によるまちづくりの推進

(1) 市民サービスの向上


整理番号	④	主管グループ	子育てグループ					
		関係グループ	教育委員会					
実施項目	放課後児童クラブの充実							
改革内容	地域社会の中で、子どもが放課後や週末等に安全・安心に過ごすことが可能となるように、民間活力の活用など実施形態を柔軟に選択し、放課後児童クラブの更なる充実を図る。							
進捗状況	放課後児童クラブの充実を図るため、平成27年度より全児童クラブにおいて受け入れ児童を6年生まで拡大するとともに、開設時間も30分延長することとした。 また、平成30年2月より、鷺別小学校隣接地に設置した鷺別児童館内に鷺別児童クラブを併設し、利用児童にとって安全・安心な放課後等を過ごすことのできる場を提供した。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
受け入れの拡大・開設時間の延長								
	検討	実施	実施	実施	実施・検証	実施	実施	
学校内または学校敷地内の優先活用								
	検討	検討	検討	実施・検討	検討・適宜実施	検討・適宜実施	検討・適宜実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	-	-	-	-	-
	実績・見込	-	-	-	-	-	-	-

1 協働によるまちづくりの推進  
 (2) 民間活力の導入

整理番号	①	主管グループ	社会福祉グループ					
		関係グループ						
実施項目	鉄南ふれあいセンターの管理運営方法の見直し【終了】							
改革内容	鉄南ふれあいセンターの管理運営について、地域団体等との協議を継続し、より効率的で効果的な管理運営となるよう見直しを行う。							
進捗状況	幌別鉄南地区連合町内会と協議を重ねてきたが、平成27年5月の協議において、運営管理等を担う人材の確保が難しく、その見通しも立たないとの見解が示されたことから、協議を終了することとした。							
実施内容		実 施 時 期						
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
管理運営方法の見直し								
		検討	検討					
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	-	-	-	-	-
	実績・見込	-	-	-	-	-	-	-




1 協働によるまちづくりの推進  
 (2) 民間活力の導入

整理番号	②	主管グループ	障がい福祉グループ					
		関係グループ						
実施項目	のぞみ園運営の業務委託							
改革内容	個々の障がい等の態様に適切に対応するため、のぞみ園の運営を豊富な療育実績と知識を有する民間事業者に業務委託することにより、療育の充実を図る。							
進捗状況	平成26年度から平成30年度まで、のぞみ園の運営を民間事業者に委託し、療育の充実に努めている。 平成27年度において、受託事業者からのヒアリングやのぞみ園利用児童の保護者からのアンケート調査を実施し、民間委託導入効果の検証を行った。 また、平成28年度から、新規事業として保育所等訪問支援を実施している。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
業務委託								
	実施	実施	実施	実施	実施・検証	実施	実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	6,898千円	6,898千円	6,898千円	6,898千円	6,898千円	6,898千円	6,898千円
	実績・見込	6,898千円	7,735千円	8,022千円	7,895千円	8,022千円	8,022千円	8,022千円

1 協働によるまちづくりの推進  
 (2) 民間活力の導入

整理番号	③	主管グループ	子育てグループ					
		関係グループ	企画調整グループ、総務グループ、学校教育グループ					
実施項目	公立保育所の民営化							
改革内容	地域の未来を担う子どもたちに、学校教育と保育を一体的に提供し、特色ある保育サービス、地域の子育て支援を充実させるため、公立保育所の民営化を進めるとともに、民営化後は民間が対象となる国の補助の活用を検討し、施設の移転改築など安全で安心な施設整備を進める。							
進捗状況	栄町保育所の民営化については、移転改築先である市営千代の台団地の土壌汚染状況調査結果を踏まえ、現在、民営化までの進め方の検討を進めているとともに、平成25年度に策定した「公立保育所民営化の考え方」についても平成31年度まで見直しを予定している。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
民営化								
	検討	検討	検討	検討	検討	検討	適宜実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	-	6,266千円	6,266千円	6,266千円	6,266千円
	実績・見込	-	-	-	-	-	-	6,266千円


1 協働によるまちづくりの推進  
 (2) 民間活力の導入

整理番号	④	主管グループ	土木・公園グループ					
		関係グループ						
実施項目	除雪パトロールと除雪業務の一括委託							
改革内容	除雪パトロールと除雪業務を一連の業務として一括して民間委託を行うことにより、迅速かつ効率的な除雪体制の構築を図る。							
進捗状況	当面は情報収集の強化として降雪確認パトロールの業務委託を検討していくこととするが、市道除雪を担っている除雪業者においては、パトロール等の頻度(日数・時間)や人員の確保(人材・費用)などの課題がある。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
一括民間委託								
	検討	検討	検討	検討	検討	検討	検討	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	-	-	-	-	-
	実績・見込	-	-	-	-	-	-	-

1 協働によるまちづくりの推進  
 (2)民間活力の導入

整理番号	⑤	主管グループ	土木・公園グループ					
		関係グループ						
実施項目	キウシト湿原管理運営の民間委託							
改革内容	キウシト湿原の供用開始を見据え、湿原の保全と活用が包括的に図られるよう、民間活力の導入を検討する。							
進捗状況	キウシト湿原は平成27年4月から供用開始しており、維持管理を民間団体に委託している。今後も引き続き維持管理を民間団体に委託する予定である。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
民間委託								
	検討	実施・検証	実施	実施	実施・検証	実施	実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	255千円	255千円	255千円	255千円	255千円	255千円
	実績・見込	-	255千円	336千円	231千円	231千円	231千円	231千円

1 協働によるまちづくりの推進  
 (2)民間活力の導入

整理番号	⑥	主管グループ	建築住宅グループ					
		関係グループ						
実施項目	市営住宅管理の見直し							
改革内容	市営住宅の管理(修繕や保守点検等の業務)の充実を図り、市営住宅入居者へのサービス向上が図られるよう、指定管理者制度など民間活力の導入を検討する。							
進捗状況	平成27年度は、市内の建設・設備関係団体と協議や意見交換を行い、修繕を含めた設備の維持補修のハード面について、実施の可能性の状況確認を実施した。 また、平成28年度に予定していた先進市や北海道への情報収集については、平成29年度に実施した。 市営住宅の管理について民間活力の導入をする際には、市営住宅の将来的な目標管理戸数や事業手法等を示す必要があり、その結果が平成31年度に得られることから、結果を踏まえ平成32年度以降に再度導入の可否を検討する。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
管理の見直し								
	検討	検討	検討	実施	検討	検討	検討	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	-	-	-	-	-
	実績・見込	-	-	-	-	-	-	-


2 堅実な行政運営の推進  
 (1) 効率的な組織・機構の構築

整理番号	①	主管グループ	人事・行政管理グループ					
		関係グループ						
実施項目	組織機構の見直し							
改革内容	多様化する市民ニーズに即応した施策を総合的に展開できるような簡素で効率的な組織の構築を目的に、毎年度組織機構を見直す。							
進捗状況	各担当グループの要望を確認し事務分掌が適正か検証することにより、簡素で効率的な組織になるよう組織機構を見直した。							
実施内容		実 施 時 期						
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
組織機構の見直し								
		適宜見直し	適宜見直し	適宜見直し	適宜見直し	適宜見直し	適宜見直し	適宜見直し
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	-	-	-	-	-
	実績・見込	-	-	-	-	-	-	-

2 堅実な行政運営の推進  
 (1)効率的な組織・機構の構築

整理番号	②	主管グループ	人事・行政管理グループ					
		関係グループ						
実施項目	定員管理の適正化							
改革内容	多様な雇用形態の活用や事務事業の見直し、行政ノウハウの継承を進め定員適正化を図る。							
進捗状況	効率的かつ効果的な行財政運営を念頭に、将来の組織を支える人員を計画的に確保するため、平成26年12月に「登別市定員適正化計画(平成26年度～平成29年度)を策定した。 平成30年度において、次期定員適正化計画を策定する予定である。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
定員管理の適正化								
	実施	実施	実施	実施	見直し	実施	実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	27,320千円	54,640千円	54,640千円	54,640千円		
	実績・見込	-	27,312千円	68,440千円	69,090千円	41,454千円		

2 堅実な行政運営の推進  
 (1)効率的な組織・機構の構築

整理番号	③	主管グループ	人事・行政管理グループ					
		関係グループ	税務グループ、国民健康保険グループ					
実施項目	徴収部門の一元化【終了】							
改革内容	税務グループ及び国民健康保険グループにおいて行っている徴収業務について、業務の効率化や経費の削減、収納率の向上を図るため、徴収部門の一元化を検討する。							
進捗状況	これまで税務グループと国民健康保険グループで協議を重ねてきたが、徴収方法等に違いがあることから、組織体制としての徴収部門の一元化は行わないこととした。 なお、差押などの滞納処分については、互いに滞納者の情報を共有し、協力しながら収納率の向上に努めていくこととする。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
徴収部門一元化								
	検討	検討						
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	-	-	-	-	-
	実績・見込	-	-	-	-	-	-	-



2 堅実な行政運営の推進  
 (2)人材の確保と育成

整理番号	①	主管グループ	人事・行政管理グループ					
		関係グループ						
実施項目	職員採用試験の見直し							
改革内容	多様化する行政課題に即応できる優秀な人材を確保するため、外部面接専門員の活用や試験内容の検討など、職員採用試験の見直しを行う。							
進捗状況	平成29年度は、引き続き一般社団法人日本経営協会から面接官を派遣いただき、プロの視点を取り入れ面接を実施していることに加え、大学卒業程度区分試験を札幌市内で開催するなど、多様な人材の確保に努めた。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
採用試験の見直し								
	適宜見直し	適宜見直し	適宜見直し	適宜見直し	適宜見直し	適宜見直し	適宜見直し	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	—	—	—	—	—	—	—
	実績・見込	—	—	—	—	—	—	—

2 堅実な行政運営の推進  
 (2)人材の確保と育成

整理番号	②	主管グループ	人事・行政管理グループ					
		関係グループ						
実施項目	時代に即した職員研修の実施							
改革内容	職員の意識改革や資質向上を図るため、現状の取り組みの検証等を随時行い、従来の研修にとらわれることなく、時代のニーズに即した効果的な職員研修を実施する。							
進捗状況	基本研修・特別研修・専門実務研修など既存の研修に加え、研修機関等への派遣研修の推進を図った。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
時代に即した職員研修								
	実施 ・適宜見直し	実施 ・適宜見直し	実施 ・適宜見直し	実施 ・適宜見直し	実施 ・適宜見直し	実施 ・適宜見直し	実施 ・適宜見直し	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	—	—	—	—	—	—	—
	実績・見込	—	—	—	—	—	—	—

2 堅実な行政運営の推進  
 (2)人材の確保と育成

整理番号	③	主管グループ	人事・行政管理グループ					
		関係グループ						
実施項目	若手職員と幹部職員の意見交換会の導入							
改革内容	採用後概ね3年以内の若手職員と幹部職員の意見交換会を導入し、幹部職員の組織や仕事に対する考え方を若手職員に伝えるとともに、若手職員の清新な発想等を幹部職員が受け止めることで、幅広い視野と課題意識をもった職員の育成及び若手職員の発想を活かした組織マネジメントの推進を図る。							
進捗状況	平成29年度は新規採用職員と各部長及び各部次長を対象に意見交換会を各1回、合計2回実施した。 若手職員からは、入庁してから学んだことや感じたことの発表があり、幹部職員からは業務に対する取り組み方等のアドバイスがあった。							
実施内容		実施時期						
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
意見交換会の導入								
		実施	実施・検証	実施	実施	実施・検証	実施	実施
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	—	—	—	—	—	—	—
	実績・見込	—	—	—	—	—	—	—

2 堅実な行政運営の推進  
 (2)人材の確保と育成

整理番号	④	主管グループ	人事・行政管理グループ					
		関係グループ	全グループ					
実施項目	再任用職員を活用した人材育成							
改革内容	これまで培われてきた業務のノウハウの継承を行うことにより、職員の減少や業務の複雑化に対応できる職員の育成を行う。							
進捗状況	平成29年度は新たに13名の再任用職員(フルタイム勤務10名、短時間勤務3名)を登用した。 また、平成29年度より定年退職前に部次長職であった職員を原則3年、フルタイム勤務限定で管理職に再任用することができることとし、安定した組織体制の維持を図った。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
再任用職員を活用した人材育成 (実施)								
	実施 ・適宜見直し	実施 ・適宜見直し	実施 ・適宜見直し	実施 ・適宜見直し	実施 ・適宜見直し	実施	実施	
目標数値・財政 効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	—	—	—	—	—	—	—
	実績・見込	—	—	—	—	—	—	—

2 堅実な行政運営の推進  
 (2)人材の確保と育成

整理番号	⑤	主管グループ	人事・行政管理グループ					
		関係グループ						
実施項目	チューター制度の確立							
改革内容	新規採用職員の職務及び公務員生活に対し、先輩職員が必要な指導や助言を行い、プロの行政職員を速やかに育成するため、チューター(職場における相談者)制度を確立する。							
進捗状況	平成29年度も引き続き、新規採用職員1人に対して、原則、他グループの先輩職員1人をチューターとして配置し、必要な指導や助言を行ったほか、チューターの役割やコーチング力等を養うため「チューター研修」を1回実施した。							
実施内容		実 施 時 期						
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
チューター制度								
		試行	実施	実施	実施	実施・検証	実施	実施
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	—	—	—	—	—	—	—
	実績・見込	—	—	—	—	—	—	—

2 堅実な行政運営の推進  
 (2)人材の確保と育成

整理番号	⑥	主管グループ	人事・行政管理グループ					
		関係グループ						
実施項目	メンタルヘルス対策の推進							
改革内容	産業医や職場復帰プログラム等を積極的に活用することにより、職員が心身ともに充実した健康状態を維持し、その能力を十分に発揮して、組織全体が活力を持って、円滑な行政の執行を行えるようメンタルヘルス対策を推進する。							
進捗状況	平成22年7月に定めた「登別市職員の職場におけるメンタルヘルス対策の取組み」に基づき、職場リハビリテーション(平成29年度2名)を実施するとともに、職員の心の健康保持増進を図ることを目的としたセルフチェックストレス調査を行った。 また、サイボウズ掲示板にて、メンタルヘルス相談員やE-MAILによるメンタルヘルス相談受付窓口、匿名利用が可能な「共済 心の相談・からだの相談」(電話窓口)を紹介し、制度利用の周知を図った。							
実施内容		実 施 時 期						
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
メンタルヘルス対策の推進								
		実施	実施	実施	実施	実施・検証	実施	実施
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	—	—	—	—	—	—	—
	実績・見込	—	—	—	—	—	—	—


2 堅実な行政運営の推進

(3) 職員の意識改革

整理番号	①	主管グループ	人事・行政管理グループ					
		関係グループ						
実施項目	人事評価制度の確立							
改革内容	職務の遂行能力や成果及び各職責の役割が果たされているかなど適切に評価することにより、職員の積極性を引き出すなど意識改革や資質の向上につながるよう新たな人事評価制度を確立する。							
進捗状況	平成28年4月から本格実施している。試行期間中には、本格実施に向け評価者及び被評価者を対象とした人事評価研修を実施し、制度の理解促進を図り、また全職員を対象にアンケート調査を実施し、制度の理解度や職員の意識の把握、改善点の洗い出しなどを行った。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
人事評価制度								
	試行	試行	実施	実施	実施・検証	実施	実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	—	—	—	—	—	—	—
	実績・見込	—	—	—	—	—	—	—

2 堅実な行政運営の推進

(3) 職員の意識改革


整理番号	②	主管グループ	人事・行政管理グループ					
		関係グループ						
実施項目	公益通報制度の構築							
改革内容	職務の執行に関し、違法又は不適正なものについては、広く通報を受け、事実調査や是正を図るとともに、通報者の保護を図るため、公益通報制度を構築する。							
進捗状況	制度導入済み自治体の運用状況を調査しながら、導入に向けて検討を重ねている。 また、制定後の周知の際は、コンプライアンス強化の観点から、「登別市職員倫理条例」と「登別市不当要求行為等の防止に関する要綱」も併せて再周知を行い、市職員のコンプライアンス意識の更なる醸成を図っていく。							
実施内容		実施時期						
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
公益通報制度								
		検討	検討	検討	検討	検討	実施・検証	実施
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	—	—	—	—	—	—	—
	実績・見込	—	—	—	—	—	—	—



3 健全な財政基盤の確立  
 (1) 公共施設の有効活用

整理番号	①	主管グループ	人事・行政管理グループ					
		関係グループ	企画調整グループ					
実施項目	公共施設整備方針の見直し							
改革内容	社会経済情勢の変化や市民ニーズなどを踏まえ、公共施設が適正な数や規模・配置になるよう、公共施設整備方針の見直しを行う。							
進捗状況	地区連合町内会等との意見交換会を経て原案を作成し、パブリックコメント(意見公募)を実施したうえで平成27年9月に公共施設整備方針を策定した。							
実施内容		実 施 時 期						
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
整備方針の見直し								
		検討	検討・策定	実施	実施	実施・検証	実施	実施
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	-	-	-	-	-
	実績・見込	-	-	-	-	-	-	-


3 健全な財政基盤の確立  
 (1) 公共施設の有効活用

整理番号	②	主管グループ	市民サービスグループ、各支所					
		関係グループ	人事・行政管理グループ					
実施項目	各支所及び分室の適正配置							
改革内容	各支所及び若草分室の利用実態等を的確に把握し、市民の利便性が損なわれないよう考慮しながら、支所の設置数や設置場所の変更、分室化等も視野に、各支所及び分室の適正配置を図る。							
進捗状況	登別温泉支所において取扱件数等を考慮し、正職員の減員について検討した結果、平成27年度から登別支所長が登別温泉支所長を兼務し、1名減員とした。また、平成28年4月1日から、登別温泉支所の嘱託員を1名減員とし、7月1日からは業務時間を短縮した。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
支所及び分室の適正配置								
	検討	検討 ・一部実施	実施	実施	実施・検証	実施	実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	5,330千円	5,330千円	5,330千円	5,330千円	5,330千円	5,330千円
	実績・見込	-	6,828千円	9,250千円	9,091千円	9,091千円	9,091千円	9,091千円



3 健全な財政基盤の確立  
(1) 公共施設の有効活用

整理番号	③	主管グループ	消防本部総務グループ					
		関係グループ	人事・行政管理グループ					
実施項目	消防体制の見直し							
改革内容	道道倶多楽湖公園線紅葉谷工区の開通や位置情報通知システムの導入により、現場到着時間が短縮されることから、支署の設置場所や設置数、効率的な職員配置など消防体制の見直しを行う。							
進捗状況	登別温泉支署と登別支署の統合庁舎について、平成29年度に建設用地を取得するとともに、基本設計及び実施設計を行い、平成30・31年度に建設、平成32年度の運用開始する。 また、幌別地区と鷺別地区についても、両地区を一体的に考え、課題解決とともに消防体制の充実強化のため、消防本署と鷺別支署を統合した新庁舎を両地区のほぼ中央の一定の高台への建設に向けた事務を進める。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
消防体制の見直し								
	検討	検討	検討	検討	検討・実施	実施	実施	
支署の統合								
			検討	設置	設置	設置	実施	
消防署の建設								
				検討	検討	検討	検討	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	消防署1 ・支署3	消防署1 ・支署3	消防署1 ・支署3	消防署1 ・支署2	消防署1 ・支署2
	実績・見込	-	-	消防署1 ・支署3	消防署1 ・支署3	消防署1 ・支署3	消防署1 ・支署3	消防署1 ・支署2


3 健全な財政基盤の確立  
 (1) 公共施設の有効活用

整理番号	④	主管グループ	建築住宅グループ					
		関係グループ						
実施項目	市営住宅管理戸数の削減							
改革内容	「登別市営住宅等長寿命化計画」に基づき、市営住宅の管理をより効率的で効果的に行うため、将来の世帯数の減少傾向や民間借家等とのバランスを考慮し、計画的に管理戸数の削減を行う。							
進捗状況	平成29年度は千代の台団地の建替えのため、既存住棟5棟20戸の解体を行った。また、千代の台団地建替事業において、平成28年度に行った基本設計の成果に合わせ、平成29年度に削減目標の見直しを実施した。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
管理戸数の削減								
	実施・見直し	実施	実施	実施・見直し	実施	実施・見直し	実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	20戸	—	6戸	20	0	▲ 32	32
	実績・見込	20戸	—	6戸	20	0	▲ 32	32


3 健全な財政基盤の確立  
 (1) 公共施設の有効活用

整理番号	⑤	主管グループ	図書館					
		関係グループ	企画調整グループ					
実施項目	地域情報センターの見直し(図書館分館の設置)							
改革内容	<p>ブロードバンド普及などを設置目的とする地域情報センターは、これまでの施設運営により、一定の役割を果たしたことから、市民への情報通信技術の普及やデジタルデバインド(情報格差)の解消の機能を引き継ぎつつ、既存のインターネット環境や視聴覚設備を活用し、高齢者や障がい者の利便性を考慮したバリアフリー機能を有する図書館分館にリニューアルし発展的に廃止を行う。</p>							
進捗状況	平成26年7月31日をもって地域情報センターを廃止し、平成26年8月1日より図書館アーニス分館を開館した。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
地域情報センターの廃止								
	実施							
図書館分館の設置								
	設置・運営	運営・検証	運営	運営	運営・検証	運営	運営	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	-	-	-	-	-
	実績・見込	-	-	-	-	-	-	-

3 健全な財政基盤の確立  
 (1) 公共施設の有効活用

整理番号	⑥	主管グループ	契約・管財グループ					
		関係グループ	関係グループ					
実施項目	未(低)利用財産の適正管理							
改革内容	市有地や土地開発基金用地の内、公共事業に必要な土地、取得時の目的で利用される見込みのない土地などの未(低)利用財産の売却や貸与等により、資産の適正管理と有効活用を進める。							
進捗状況	登別市公有財産未利用地活用方針(平成27年3月見直し)に基づき、市有地の売却及び貸付けを行った。また、次年度以降の有効的な売却・貸与方法等の検証を行った。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
未(低)利用財産の適正管理								
	実施・見直し	実施・検証	実施・検証	実施・検証	実施・見直し	実施・検証	実施・検証	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	16,222千円	88,790千円	98,100千円	97,875千円	100,000千円	96,000千円	8,200千円
	実績・見込	16,300千円	51,852千円	17,209千円	11,422千円	86,810千円	83,110千円	86,950千円

3 健全な財政基盤の確立  
 (1) 公共施設の有効活用

整理番号	⑦	主管グループ	社会教育グループ					
		関係グループ						
実施項目	学校開放事業の自主管理							
改革内容	先行して自主管理を始めた2校の実施状況等を踏まえた上で、管理に係る人件費を削減し効率的な財政運営を行うため、全ての学校開放について利用者による自主管理を行う。							
進捗状況	平成25年度に行った先行実施2校(若草小・青葉小)の状況を検証したところ、利用団体による自主管理が円滑に行われたことから、平成26年4月より全10校(中学校1校、小学校8校、カント・レラ)で自主管理を実施した。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
学校開放の自主管理								
	実施	実施	実施	実施	実施・検証	実施	実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	3,567千円	3,567千円	3,567千円	3,567千円	3,567千円	3,567千円	3,567千円
	実績・見込	3,567千円	3,567千円	3,567千円	3,567千円	3,567千円	3,567千円	3,567千円

3 健全な財政基盤の確立


(1) 公共施設の有効活用

整理番号	⑧	主管グループ	学校教育グループ					
		関係グループ						
実施項目	小中学校の適正配置							
改革内容	「学校適正配置基本方針」を目安にし、教育的観点、まちづくりの観点から、保護者を含む地域住民と十分協議を行い、1学級あたりの児童・生徒数や1学年あたりのクラス数なども含め、小中学校の適正な配置を実施する。							
進捗状況	平成26年5月に、登別市の学校の適正な規模や配置の具体的な考え方を示す「登別市適正配置基本方針」を策定し、教育委員会ホームページ上で公開するとともに、地区懇談会で概要を説明し、市民への周知を図った。 また、登別地区連合町内会の要請を受け、詳細の説明と意見交換を実施した。今後は各学校のPTA役員会、学校運営協議会において基本方針の内容を情報提供し、学校の課題が明確になった場合、教育委員会が地区別検討委員会を立ち上げ具体的な協議を開始する。							
実施内容		実 施 時 期						
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
小中学校の適正配置		▶						
		検討	検討	検討	検討	検討	検討	検討
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	-	-	-	-	-
	実績・見込	-	-	-	-	-	-	-




3 健全な財政基盤の確立

(1) 公共施設の有効活用

整理番号	⑨	主管グループ	人事・行政管理グループ					
		関係グループ	公共施設所管グループ等					
実施項目	公共施設等総合管理計画の策定							
改革内容	公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現するため、公共施設等総合管理計画を策定する。							
進捗状況	市長を本部長とし組織した登別市公共施設等総合管理推進本部による協議を経て原案を作成し、パブリックコメント(意見公募)を実施したうえで平成28年3月に登別市公共施設等総合管理計画を策定した。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
公共施設等総合管理計画策定								
		検討・策定	実施 ・適宜見直し	実施 ・適宜見直し	実施 ・適宜見直し	実施 ・適宜見直し	実施 ・適宜見直し	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	-	-	-	-	-
	実績・見込	-	-	-	-	-	-	-


3 健全な財政基盤の確立

(1) 公共施設の有効活用

整理番号	⑩	主管グループ	商工労政グループ					
		関係グループ	健康推進グループ					
実施項目	再生可能エネルギーの導入							
改革内容	国からの有利な補助金を活用して総合福祉センターに太陽光発電システム、太陽熱利用給湯システム、地中熱及び施設排熱を利用した融雪システムを設置し、市内企業の技術を活用した再生可能エネルギー等の先進的な導入モデルとして、再生可能エネルギー等の普及促進を図る。							
進捗状況	総合福祉センターに設置した、蓄電付太陽光発電システム、太陽熱利用給湯システム、地中熱及び施設排熱を利用した融雪システムにより、電気やLPガスの使用料の削減とCO2の削減が図られた。 また、市内技術を活用した再生可能エネルギー等の先進的な導入モデルとして、市内事業者における新たな事業展開のきっかけとなるよう情報発信していく。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
再生可能エネルギー設備の設置 (総合福祉センター)								
	検討	設置	運営	運営	運営	運営	運営	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	-	-	-	-	-
	実績・見込	-	6.29t-CO2	17.23t-CO2	20.75t-CO2	20.75t-CO2	20.75t-CO2	20.75t-CO2

3 健全な財政基盤の確立

(2)財源の確保

整理番号	①	主管グループ	人事・行政管理グループ					
		関係グループ	各担当グループ					
実施項目	公共施設使用料及び減免制度の見直し							
改革内容	受益者負担の適正化を目的に、公共施設使用料及び減免制度の見直しを行う。							
進捗状況	登別市集会施設運営連絡協議会を経て「公共施設使用料方針」及び「公共施設使用料減額・免除制度方針」を改定し、平成28年4月1日以降の公共施設(集会施設)の使用に係る減額使用料を改定した。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
公共施設使用料及び減免制度の見直し								
	実施	実施・見直し	実施	実施	実施	実施	実施・見直し	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	-	-	-	-	-
	実績・見込	-	-	2,282千円	2,282千円	2,365千円	2,365千円	2,365千円


3 健全な財政基盤の確立

(2)財源の確保

整理番号	②	主管グループ	人事・行政管理グループ、環境対策グループ					
		関係グループ	各担当グループ					
実施項目	手数料の見直し							
改革内容	受益者負担の適正化を目的に、手数料の見直しを行う。							
進捗状況	平成28年度に受益者負担の適正化の観点から見直しを行い、平成29年4月1日からし尿処理手数料等を改定した。							
実施内容	実施時期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
手数料の見直し								
	実施	実施	実施	実施・見直し	実施	実施	実施・見直し	
し尿処理手数料の見直し								
	実施	実施	実施・見直し	実施	実施	実施	実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	-	4,798千円	4,724千円	4,592千円	8,578千円
	実績・見込	-	-	-	9,885千円	10,092千円	10,092千円	10,092千円


3 健全な財政基盤の確立

(2)財源の確保

整理番号	③	主管グループ	社会教育グループ					
		関係グループ						
実施項目	青少年会館の有料化							
改革内容	青少年会館の利用者のうち、青少年以外(18歳以上)の使用については、受益者負担の適正化を目的に、使用料の有料化を行う。							
進捗状況	平成26年7月より、青少年以外(18歳以上)の一般団体・個人使用については有料化し、受益者負担の適正化を図った。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
青少年会館有料化								
	実施	実施	実施	実施	実施・検証	実施	実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	639千円	819千円	819千円	819千円	819千円	819千円	819千円
	実績・見込	639千円	1,014千円	822千円	803千円	803千円	803千円	803千円


3 健全な財政基盤の確立

(2) 財源の確保

整理番号	④	主管グループ	税務グループ、国民健康保険グループ					
		関係グループ						
実施項目	市税等収納率の向上							
改革内容	企業等の特別徴収実施の推進等を通して滞納の新規発生の抑制に努める。また、給与や預貯金、年金、生命保険、不動産の差押を行うとともに、タイやロックや搜索による動産の差押、インターネット公売などの滞納処分の精通者を育成し、その取り組みについて更に強化することにより、収納率の向上を図る。							
進捗状況	個人市道民税の特別徴収の拡大を北海道とともに図り、新たな滞納を発生させないように努めている。 また、徴収担当職員が滞納処分に関する研修に参加しスキルアップを図っている。 給与や預貯金、生命保険、国・道税還付金については、積極的に差押を実施しており、差押の件数は増加している。 目標数値である収納率については、平成27年度実績で到達し、平成29年度は92.24%と初の92%台に乗り、平成30年度以降についても92.24%を目標としながら、更なる向上を目指すこととしている。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
市税等収納率の向上								
	実施	実施	実施	実施	実施・検証	実施	実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	90.00%	90.00%	90.00%	90.00%	90.00%	90.00%	90.00%
	実績・見込	89.50%	90.18%	91.15%	92.24%	92.24%	92.24%	92.24%


3 健全な財政基盤の確立

(2) 財源の確保

整理番号	⑤	主管グループ	総務グループ					
		関係グループ	商工労政グループ、農林水産グループ、観光振興グループ					
実施項目	ふるさとまちづくり応援寄附金の見直し							
改革内容	登別市を継続的に応援してくれる寄附者を市内外に確保するため、登別市ふるさとまちづくり応援寄附金制度の周知徹底を図るとともに、寄附者へ送付する記念品に登別の旬のものを取り入れるなど、魅力の向上を図る。							
進捗状況	登別市ふるさとまちづくり応援寄附金額の増加を図るための取組として、平成28年4月1日からふるさと納税ポータルサイトである「ふるさとチョイス」からの直接申込とクレジットカード決済を導入するとともに、寄附者からの問い合わせ対応や返礼品の発送管理などの業務の一部について、全国的に実績のある業者に委託した。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
制度の見直し								
	適宜見直し	適宜見直し	適宜見直し	適宜見直し	適宜見直し	適宜見直し	適宜見直し	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	15,666千円	17,500千円	24,000千円	30,000千円	36,000千円	42,000千円	48,000千円
	実績・見込	15,639千円	12,223千円	97,796千円	50,438千円	50,438千円	50,438千円	50,438千円

3 健全な財政基盤の確立

(3) 効率的な財政運営

整理番号	①	主管グループ	財政グループ					
		関係グループ						
実施項目	計画的な財政運営							
改革内容	平成25年度から平成32年度までの中期財政見通しに基づき、健全かつ効率的で弾力的な財政運営が図られるよう、計画的な財政運営を行う。							
進捗状況	平成28年度に、期間を平成29年度から平成36年度とする見通しに更新し、公表を行った。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
計画的な財政運営								
	実施	実施	実施・見直し	実施	実施	実施	実施・見直し	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	—	—	—	—	—	—	—
	実績・見込	—	—	—	—	—	—	—











3 健全な財政基盤の確立

(3) 効率的な財政運営

整理番号	②	主管グループ	財政グループ、契約・管財グループ、会計グループ					
		関係グループ	全グループ					
実施項目	統一的な基準による公会計制度の本格導入							
改革内容	インフラ資産の計画的な整備や経費のフルコスト情報での分析が可能となる統一的な基準による公会計制度の本格導入を検討し、更に適正な財政運営を行う。							
進捗状況	平成29年度に、平成28年度決算に基づく統一的な基準による財務書類を作成し、公表を行った。 また、地方公会計に関する職員の知識の習得、向上を図るため、各種研修機関への職員派遣や庁内での研修会を実施したほか、総務部の職員を構成員としたワーキンググループを立ち上げ、財務書類等から得られる情報の活用手法の研究、検討を行った。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
新基準への移行								
	検討	検討	検討	実施	実施	実施	実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	—	—	—	—	—	—	—
	実績・見込	—	—	—	—	—	—	—


3 健全な財政基盤の確立

(3) 効率的な財政運営

整理番号	③	主管グループ	財政グループ					
		関係グループ	全グループ					
実施項目	経常経費等の削減							
改革内容	<p>事務事業の見直しなどにより歳出の削減を引き続き取り組むとともに、一般事務経費や施設の運営管理経費など全ての経費において、更にその必要性和費用対効果を検証し、徹底したコスト意識を持って、歳出の削減を図る。</p> <p>枠配分方式については平成26年度中に検証し、見直しを行う。</p>							
進捗状況	<p>枠配分方式については、3年間の運用において職員のコスト意識や施策遂行意識の醸成など、一定の成果が得られたことから、平成27年度当初予算編成より、それらの成果をベースに、それぞれの事務事業における予算額が最善かつ最少であるかを検討し、ゼロベースからの積み上げにより再構築することを目的として財政部局の一件査定方式により行うこととした。</p> <p>平成28年度以降における当初予算編成においても一件査定方式を継続しており、歳出の抑制にあたっては、予算の執行段階においても、最小の経費で最大の効果をあげるよう、事業内容や実施方法について改善を図りながら取組を進めている。</p>							
実施内容	実施時期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
経常経費の削減								
	実施・検証	実施・検証	実施・検証	実施・検証	実施・検証	実施・検証	実施・検証	
枠配分方式の見直し								
	検討・見直し							
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	7,027千円	6,748千円	7,238千円	9,121千円	10,584千円	7,196千円	5,637千円
	実績・見込	10,127千円	9,785千円	13,909千円	2,090千円	10,584千円	7,196千円	5,637千円


3 健全な財政基盤の確立

(3) 効率的な財政運営

整理番号	④	主管グループ	選挙管理委員会事務局総務グループ					
		関係グループ						
実施項目	選挙における投票所の適正配置							
改革内容	投票の機会を平等に確保しながら、地形及び交通の利便など地域の特性を十分考慮し投票所を適正配置する。							
進捗状況	第28投票区すずらの家について、投票所閉鎖時刻の短縮を町内会と協議したが、18時以降も投票している者がいることから現状で良い旨回答を得た。状況が変われば、再度、協議することとなった。引き続き、投票所の統廃合及び投票所閉鎖時刻の短縮を検討する。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
投票所の適正配置								
	検討	検討	実施	検討	実施・検証	実施	実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	29投票所	29投票所	28投票所	28投票所	28投票所	28投票所	28投票所
	実績・見込	29投票所	29投票所	28投票所	28投票所	28投票所	28投票所	28投票所


3 健全な財政基盤の確立

(3) 効率的な財政運営

整理番号	⑤	主管グループ	選挙管理委員会事務局総務グループ					
		関係グループ						
実施項目	選挙におけるポスター掲示場の適正配置							
改革内容	地域の特性を十分考慮し、ポスター掲示が効率的かつ効果的に行えるようポスター掲示場を適正配置する。							
進捗状況	平成26年7月にポスター掲示場の現地調査を実施し、投票区ごとの居住状況等を把握し、ポスター掲示場の必要性を考慮した結果、公職選挙法施行令の基準数未満であってもその効果を十分に発揮できると判断し、平成26年12月14日執行の第47回衆議院議員総選挙及び第23回最高裁判所裁判官国民審査から、設置数を116箇所から81箇所に削減した。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
ポスター掲示場の適正配置								
	検討・実施	実施	実施	実施	実施・検証	実施	実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	1,785千円	2,730千円	2,135千円	0千円	1,190千円	3,955千円	910千円
	実績・見込	1,785千円	2,730千円	2,170千円	1,190千円	0千円	3,990千円	910千円


3 健全な財政基盤の確立

(3) 効率的な財政運営

整理番号	⑥	主管グループ	総務グループ					
		関係グループ	高圧受電設備所有公共施設所管グループ					
実施項目	公共施設における特定規模電気事業者(PPS)からの電力購入							
改革内容	電力の安定供給が可能であることを前提に、特定規模電気事業者から電力を購入することにより、電気料金を節減し効率的な財政運営を図る。							
進捗状況	平成26年11月から高圧受電施設のうち、本庁舎を含む24施設(平成29年度は鷺別小学校を除く23施設)を対象として、特定規模電気事業者(PPS)と電気需給契約を締結している。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
特定規模電気事業者からの電力購入								
	一部実施	適宜実施	適宜実施	適宜実施	適宜実施・検証	適宜実施	適宜実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	648千円	7,560千円	7,560千円	7,560千円	7,560千円	7,560千円	7,560千円
	実績・見込	648千円	8,414千円	8,361千円	9,960千円	9,960千円	9,960千円	9,960千円


3 健全な財政基盤の確立

(3) 効率的な財政運営

整理番号	⑦	主管グループ	学校教育グループ					
		関係グループ						
実施項目	札内地区スクールバスのタクシー化							
改革内容	札内小中学校の閉校により「児童生徒の足の確保」として導入したスクールバスについて、今後の利用見込人数を踏まえ、タクシー化に変更することで経費の削減を図る。							
進捗状況	効率的な事業運営を図るため、平成28年度から通学手段をバスからタクシーへ切り替えた。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
札内地区スクールバスのタクシー化								
		検討	実施	実施	実施・検証	実施	実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	6,481千円	4,837千円	4,123千円	4,123千円	4,159千円
	実績・見込	-	-	1,685千円	1,244千円	4,123千円	4,123千円	4,159千円


3 健全な財政基盤の確立

(3) 効率的な財政運営

整理番号	⑧	主管グループ	総務グループ					
		関係グループ						
実施項目	市バスの独自運行							
改革内容	市バスの運行業務について、道路運送法に基づく一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の変更命令により、バス会社への運行距離、時間に制限のない委託が不可能となったことから、業務委託から市独自運行へ変更することで経費の削減と雇用の創出を図る。							
進捗状況	平成28年4月1日からの市バス運行に伴い、新たに市バス2台を購入するとともに、運転手として2名の嘱託員を雇用した。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
市バスの独自運行								
		検討	実施	実施	実施・検証	実施	実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	4,805千円	4,805千円	4,805千円	4,805千円	4,805千円
	実績・見込	-	-	6,537千円	6,383千円	6,383千円	6,383千円	6,383千円

3 健全な財政基盤の確立


(4) 既存事業の見直し

整理番号	①	主管グループ	環境対策グループ					
		関係グループ						
実施項目	ごみステーションネット化推進事業補助金の廃止							
改革内容	ごみステーションの美観、衛生、交通安全、収集効率の向上を図るため、ごみステーションをネット化する町内会に対し助成を行う登別市衛生団体連合会に対して、経費の一部を補助しているが、ごみステーションのネット化が一定程度図られていることから、将来的なごみステーションのネット化(更新含む)については、町内会の単独事業として本補助金を廃止する。							
進捗状況	平成28年度に町内会・登別市衛生団体連合会等に対して、本補助金の廃止についての説明を行い、平成30年度をもって廃止することとした。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
ごみステーションネット化推進事業補助金の廃止								
		検討	補助金の継続	補助金の継続	補助金の継続	実施		
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	-	-	-	106千円	106千円
	実績・見込	-	-	-	-	-	104千円	104千円



3 健全な財政基盤の確立

(4) 既存事業の見直し

整理番号	②	主管グループ	環境対策グループ					
		関係グループ						
実施項目	蜂及び蜂の巣駆除業務の見直し							
改革内容	蜂及び蜂の巣駆除業務について、「自分の財産は自分で管理する」との観点や、近隣市や他市の状況を踏まえ、原則、土地及び建物などの所有者等自らの責任で行うことを基本とする。							
進捗状況	広報・ホームページに掲載するとともに、登別市連合町内会及び各町内会を通したチラシの回覧を行い、平成28年4月1日より実施した。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
蜂及び蜂の巣駆除業務の見直し								
		検討	実施	実施	実施	実施	実施	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	2,741千円	2,741千円	2,741千円	2,741千円	2,741千円
	実績・見込	-	-	550千円	875千円	875千円	875千円	875千円

3 健全な財政基盤の確立

(4) 既存事業の見直し

整理番号	③	主管グループ	子育てグループ					
		関係グループ						
実施項目	災害遺児手当の廃止							
改革内容	この制度が創設された昭和46年当時と比べ、近年は損害保険制度が普及し、その補償水準も高くなっていることから、制度の存在意義が薄れており、平成25年度より支給対象者がいない状況であることから、制度の継続について他市の状況を確認し検証を行う。							
進捗状況	道内他市の制度の実施状況、制度を廃止した市の廃止に至った経緯等について調査するとともに、当市の制度創設の際の状況について確認した。 平成28年第4回定例会において、登別市災害遺児手当支給条例の廃止に係る提案を行ったが否決となった。							
実施内容	実 施 時 期							
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
災害遺児手当の廃止								
		検討	検討	検討	検討	検討	検討	
目標数値・財政効果	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	当初目標	-	-	-	240千円	240千円	240千円	240千円
	実績・見込	-	-	-	-	-	-	-

## ■財政効果額一覧

(単位:千円)

実施項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	計
のぞみ園運営の業務委託	6,898	7,735	8,022	7,895	8,022	8,022	8,022	54,616
公立保育所の民営化	—	—	—	—	—	—	6,266	6,266
キウシト湿原管理運営の民間委託	—	255	336	231	231	231	231	1,515
定員管理の適正化	—	27,312	68,440	69,090	41,454	0	0	206,296
各支所及び分室の適正配置	—	6,828	9,250	9,091	9,091	9,091	9,091	52,442
未(低)利用財産の適正管理	16,300	51,852	17,209	11,422	86,810	83,110	86,950	353,653
学校開放事業の自主管理	3,567	3,567	3,567	3,567	3,567	3,567	3,567	24,969
公共施設使用料及び減免制度の見直し	—	—	2,282	2,282	2,365	2,365	2,365	11,659
手数料の見直し	—	—	—	9,885	10,092	10,092	10,092	40,161
青少年会館の有料化	639	1,014	822	803	803	803	803	5,687
ふるさとまちづくり応援寄附金の見直し	15,639	12,223	97,796	50,438	50,438	50,438	50,438	327,410
経常経費等の削減	10,127	9,785	13,909	2,090	10,584	7,196	5,637	59,328
選挙におけるポスター掲示上の適正配置	1,785	2,730	2,170	1,190	0	3,990	910	12,775
公共施設における特定規模電気事業者(PPS)からの電力購入	648	8,414	8,361	9,960	9,960	9,960	9,960	57,263
札内地区スクールバスのタクシー化	—	—	1,685	1,244	4,123	4,123	4,159	15,334
市バスの独自運行	—	—	6,537	6,383	6,383	6,383	6,383	32,069
ごみステーションネット化推進事業補助金の廃止	—	—	—	—	—	104	104	208
蜂及び蜂の巣駆除業務の見直し	—	—	550	875	875	875	875	4,050
計	55,603	131,715	240,936	186,446	244,798	200,350	205,853	1,265,701